

出来る限り、以下の様式に沿った議事録を作成下さいますようお願いいたします。

(様式 2)

議事録番号

提出 2020 年 3 月 3 日

## 会合議事録

研究会名：第 13 回 SPRUC 核共鳴散乱研究会

日 時：2019 年 9 月 13 日

場 所：名古屋工業大学 (21 号館 2 階 210 共通会議室)

出席者：(議事録記載者に下線)

依田芳卓 (JASRI)、齋藤真器名 (京都大学)、増田亮 (京都大学)、北尾真司 (京都大学)、黒葛真行 (京都大学)、筒井智嗣 (JASRI)、小林康浩 (京都大学)、小林寿夫 (兵庫県立大学)、三井隆也 (QST)、木村滋 (JASRI)、壬生攻 (名工大)、瀬戸誠 (京都大学)、藤原孝将 (JASRI)、田中雅彦 (名工大)、櫻井吉晴 (JASRI)、世木隆 (コベルコ科研)、大原繁男 (名工大)、池田修吾 (兵庫県立大学)、吉見彰洋 (岡山大)

計 19 名

議題：核共鳴散乱を利用した研究の世界的動向、最先端とその将来、将来構想  
議事内容：

現在、SPring-8 では BL 再構築に向けた議論が始まっています。また 8 月末に開催された SPring-8 シンポジウムでは、SPring-8 における NRS 利用高度化ワーキンググループ設置に関する報告がありました。このような状況のなか、核共鳴散乱研究の将来構想について早急に議論する必要性があり、最新の世界的な研究動向も把握しながら、より高いレベルの研究、より多くの成果の創出に向けて議論を行いました。また、将来構想と結びついた技術開発、研究環境の整備についても議論を進めました。

以下にそのプログラムを記載します。

### 第 13 回 SPRUC 核共鳴散乱研究会

2019 年 9 月 13 日 (金) 14:00 – 18:00

名古屋工業大学 (21 号館 2 階 210 共通会議室)

14:00 – 14:05 はじめに

依田芳卓 (JASRI)

#### 核共鳴散乱を利用した研究の世界的な動向

- 14:05 – 14:15 「世界の核共鳴散乱ビームラインの採択課題・発表論文から」  
依田芳卓 (JASRI)
- 14:15 – 14:25 「Nuclear Resonant Scattering Workshop からの最新の研究動向」  
筒井智嗣 (JASRI)
- 14:25 – 14:35 「ICAME2019 本会議からの線源実験を含む最新の研究動向」  
北尾真司 (京大複合研)

#### 核共鳴散乱研究の最先端とその将来

- 14:35 – 14:45 「日本における核共鳴散乱研究の現状と展望 - Overview -」  
瀬戸誠 (京大複合研)
- 14:45 – 15:00 「核共鳴散乱を利用したトリウム原子核時計の開発」  
吉見彰洋 (岡山大学)
- 15:00 – 15:15 「核共鳴散乱ガンマ線を用いた準弾性散乱研究の展望」  
齋藤真器名 (京大複合研)
- 休憩
- 15:25 – 15:40 「核分光器による先進的放射光メスバウアー分光法の開発研究」  
三井隆也 (QST)
- 15:40 – 15:55 「核共鳴散乱による生物学的利用の展望」  
依田芳卓 (JASRI)
- 15:55 – 16:10 「化学・材料分野の分析ツールとしての核共鳴散乱の利活用」  
筒井智嗣 (JASRI)
- 16:10 – 16:25 「放射光の偏光特性を利用した多重極限環境下の量子物性への展開」  
小林寿夫 (兵庫県立大)
- 16:25 – 16:40 「放射光核共鳴散乱法を用いた薄膜系ナノ材料の研究と新放射光源施設への期待」  
壬生攻 (名工大)

休憩

#### 将来構想に関する総合討論

- 16:50 – 17:10 「SPring-8 におけるビームライン再構築・NRS 利用高度化 WG について」  
依田芳卓 (JASRI)
- 17:10 – 18:00 総合討論